

ここが聞きたい!

いっぱん

奥出雲町でこそ 小学校でそろばん教育を

塔村俊介 議員

教育長 効果があれば積極的に支援していきたい



問 奥出雲町にとってそろばん、そろばん産業の意義は。

答 本町の伝統産業であり、町を印象づけるものである。そろばんは脳を活性化させ、認知症予防の効果などが見直されている。

問 尼崎市や立命館小学校でそろばん教育の取り組みがなされ、成果が上がっている。奥出雲町でそろばんの教科化など小学校へのそろばん教育の積極的な導入の考えは。

答 安部教育長

H14、15年頃実践研究を行ったが、期待するような効果を教育課程の中に位置づけるのは困難であった。そろばんをやった方が学力の課題等も解

決できるのなら積極的に支援していく。

問 奥出雲町はそろばんの町である。効果があればそろばん教育を取り入れるのではなく、奥出雲町が積極的に推進して教育効果を確かめないとけない。



そろばんの効果が見直されている(町内そろばん教室)

属や認知症に対する効果として、そろばんが見直されている。そろばんと脳との関係研究への支援の考えは。

答 研究機関と連携し、国、県などの支援策を活用して普及体制を検討していく。

問 「所得なくして定住なし」仕事場の確保は定住の絶対条件だが、町内の誘致企業や中小地場産業の今後の見通しは。

答 昨年は企業の倒産等

もあり、地場産業は厳しい状況が続くと予想している。一方、設備投資や新分野に積極的な企業もある。消費の町外流出はさらに増加傾向が続いており、小売店等は今後ますます厳しい。

問 町独自の支援の考えは。

答 これまでのきらり輝く地域づくり事業を拡大し、商品開発や販売拡大などへの交付金事業を新設した。インキュベーション施設についても他の自治体の状況を見ながら検討したい。

問 商店の改装への助成制度の拡充も必要である。過疎法が改正され、貸工場、貸事務所が対象に加えられた。奥出雲では商売が難しいけど、初期投資分を町が負担し安い家賃とすることで起業した事例もある。実質約3割負担の有利なものであるが、建設の可能性は。

問 商工会の加盟会員は約500社あるが、40歳以下の跡継ぎがいるところは50社もない。今後どうなるかは容易に想像できる。事業者への積極的支援が重要である。町、商工会、金融機関が連携した農商工の起業等の支援組織窓口が必要と思うが町長の考えは。

答 現在の町内には3カ所の貸工場を整備し、多くの雇用の場となっている。貸工場は企業誘致に非常に有利な事業と考えている。また、事業規模は小さいが、地域の人がいきいきと働くことができる雇用の場の創出が必要。奥出雲町らしい創業支援策や事業承継支援を検討していく。

問 町の経済が活性化するために、起業や第二創業等が増加するよう支援していく必要がある。地方創生の中で、産・学・金・労が連携しながら総合戦略策定を行い、その中で検討する。

問 事業承継(家業を継ぐ)の際等の今後20年30年間で頑張っていくという人に対して、補助金やインキュベーション(ふ化)施設等

もあり、地場産業は厳しい状況が続くと予想している。一方、設備投資や新分野に積極的な企業もある。消費の町外流出はさらに増加傾向が続いており、小売店等は今後ますます厳しい。

問 町独自の支援の考えは。